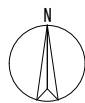


浪岡養護学校特別教室外空気調和設備設置工事 設計図

図 面 番 号	図 面 名 称
M - 0 1	機械設備工事 特記仕様書 1
M - 0 2	機械設備工事 特記仕様書 2
M - 0 3	案内図・配置図・凡例
M - 0 4	空気調和設備 機器表・計装参考図
M - 0 5	空気調和設備 1 階平面図
M - 0 6	空気調和設備 2 階平面図
M - 0 7	空気調和設備（計装） 1 階平面図
M - 0 8	空気調和設備（計装） 2 階平面図
M - 0 9	仮設計画図
M - 1 0	天井改修一覧表
E - 0 1	電気設備工事 特記仕様書 1
E - 0 2	電気設備工事 特記仕様書 2
E - 0 3	1 階電灯設備図
E - 0 4	1 階動力設備図
E - 0 5	2 階動力設備図
E - 0 6	1 階設備機器用配線設備図
E - 0 7	2 階設備機器用配線設備図
E - 0 8	電灯分電盤・動力盤単線結線図
E - 0 9	改修前受変電設備単線結線図
E - 1 0	改修後受変電設備単線結線図

学校施設課
株式会社 イープラン

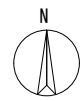


浪岡養護学校
青森市浪岡大字女鹿沢平野 215-6

名 称	記 号	備 考
冷 媒 管	— R —	一 般 断熱被覆銅管（断熱COP） ※屋内外露出配管には化粧ダクト（樹脂製）を施す。
空 調 ド レ ン 管	— D —	一 般 硬質強化ビニル管（VP） 屋 外 硬質強化ビニル管（VP）露出はカラーVP

1. 校舎にエアコンの設置を行う。
設置するエアコンは空気熱源ヒートポンプ式エアコンとする。
2. 設置対象室は図示による。
3. 設置するエアコンは集中リモコンによる管理を行う。

1. 図面記載品番を参考とし、同等以上の仕様及び能力を有する機器・器具を使用する。
2. 工事にあたってはメーカーの指導・監督の基に施工及び調整（荷役試験・真空引き・冷媒充填等を含）を行う。
3. 工事にあたっては主任、職員及び作業員の安全対策に配慮し、また、振動等に対する十分な対策を行う。
4. 室外機設置及び配管については避難経路及び消警等の障害にならないよう注意する。
5. エアコン設置に係る電気設備工事については別途工事とする。
6. エアコン設置に係る天井改修・機械基礎等の建築工事については本工事とする。
7. エアコンのドレン配管は150mm以下で直接下排水とする。



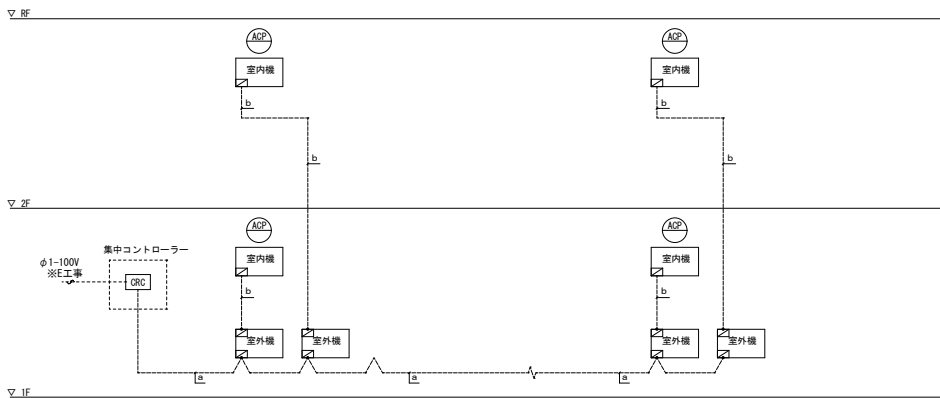
 工事対象部分を示す

空調機器表

記 号	名 称	仕 様 及 び 付 属 品	電 気 容 量 kW			数 量	設 置 場 所	備 考
			φ	V	定 格			
ACP-1'	パッケージエアコン	形 式 空冷ヒートポンプ式 耐塩害仕様 [天吊露出形 同時ツイン]				2	2F- 視聴覚・会議室	参考型番 RPC-GP140RSH11
		仕 様 冷房能力 12.5kW(JIS) 14.0kW(最大)	3	200	4.22		図書室	
		暖房能力 14.0kW(JIS) 18.0kW(最大)	3	200	3.78			
		圧縮機 2.95kW INV始動						
		付属品 74ℓx51ℓx110ℓ, 受光部ワイド, ドレンパンプ 2台, 鋼製架台(壁設置用), 鋼製屋根						
		集中管理接続端子, 他一式						
ACP-2	パッケージエアコン	形 式 空冷ヒートポンプ式 耐塩害仕様 [天吊露出形 同時ツイン]				1	2F- 理科教室	参考型番 RPC-GP112RSH11
		仕 様 冷房能力 10.0kW(JIS) 11.2kW(最大)	3	200	2.80			コンクリート基礎[本工事]
		暖房能力 11.2kW(JIS) 14.0kW(最大)	3	200	2.74			
		圧縮機 2.00kW INV始動						
		付属品 74ℓx51ℓx110ℓ, 受光部ワイド, ドレンパンプ 2台, 鋼製架台(800H), 鋼製屋根,						
		転倒防止金具, 集中管理接続端子, 他一式						
ACP-2'	パッケージエアコン	形 式 空冷ヒートポンプ式 耐塩害仕様 [天吊露出形 同時ツイン]				1	1F- 技術室	参考型番 RPC-GP112RSH11
		仕 様 冷房能力 10.0kW(JIS) 11.2kW(最大)	3	200	2.80			
		暖房能力 11.2kW(JIS) 14.0kW(最大)	3	200	2.74			
		圧縮機 2.00kW INV始動						
		付属品 74ℓx51ℓx110ℓ, 受光部ワイド, ドレンパンプ 2台, 鋼製架台(壁設置用), 鋼製屋根						
		集中管理接続端子, 他一式						
ACP-3'	パッケージエアコン	形 式 空冷ヒートポンプ式 耐塩害仕様 [天吊露出形 シングル]				1	2F- 視聴覚・会議室	参考型番 RPC-GP80RSH11
		仕 様 冷房能力 7.1kW(JIS) 8.0kW(最大)	3	200	2.04			
		暖房能力 8.0kW(JIS) 10.0kW(最大)	3	200	2.19			
		圧縮機 1.45kW INV始動						
		付属品 74ℓx51ℓx110ℓ, 受光部ワイド, ドレンパンプ 2台, 鋼製架台(壁設置用), 鋼製屋根						
		集中管理接続端子, 他一式						
ACP-4	パッケージエアコン	形 式 空冷ヒートポンプ式 耐塩害仕様 [天吊露出形 シングル]				4	1F- 園工準備室	参考型番 RPC-GP40RSH9
		仕 様 冷房能力 3.6kW(JIS) 4.0kW(最大)	3	200	0.89		2F- 準備室, 児童・生徒会室	コンクリート基礎[本工事]
		暖房能力 4.0kW(JIS) 5.4kW(最大)	3	200	0.99		音楽準備室	
		圧縮機 0.55kW INV始動						
		付属品 74ℓx51ℓx110ℓ, 受光部ワイド, ドレンパンプ 2台, 鋼製架台(800H), 鋼製屋根,						
		転倒防止金具, 集中管理接続端子, 他一式						
ACP-4'	パッケージエアコン	形 式 空冷ヒートポンプ式 耐塩害仕様 [天吊露出形 シングル]				3	1F- 相談室	参考型番 RPC-GP40RSH11
		仕 様 冷房能力 3.6kW(JIS) 4.0kW(最大)	3	200	0.89		2F- 更衣室兼女子休養室	
		暖房能力 4.0kW(JIS) 5.4kW(最大)	3	200	0.99		放送室	
		圧縮機 0.55kW INV始動						
		付属品 74ℓx51ℓx110ℓ, 受光部ワイド, ドレンパンプ 2台, 鋼製架台(壁設置用), 鋼製屋根						
		集中管理接続端子, 他一式						
ACP-5'	パッケージエアコン	形 式 空冷ヒートポンプ式 耐塩害仕様 [天吊露出形 シングル]				1	1F- 保健室	参考型番 RPC-GP56RSH11
		仕 様 冷房能力 5.0kW(JIS) 5.6kW(最大)	3	200	1.22			
		暖房能力 5.6kW(JIS) 7.1kW(最大)	3	200	1.42			
		圧縮機 0.95kW INV始動						
		付属品 74ℓx51ℓx110ℓ, 受光部ワイド, ドレンパンプ 2台, 鋼製架台(壁設置用), 鋼製屋根						
		集中管理接続端子, 他一式						
ACR-1	ル ー ム エ ア コ ン	形 式 空冷ヒートポンプ式 耐塩害仕様				3	1F- 男子休養室, 更衣室1	参考型番 RRAS-MJ2225SE
		仕 様 冷房能力 2.2kW(JIS) 2.8kW(最大)	1	100	0.58		多目的室	コンクリート基礎[本工事]
		暖房能力 2.2kW(JIS) 3.9kW(最大)	1	100	0.47			
		圧縮機 0.60kW INV始動						
		付属品 74ℓx51ℓx110ℓ, 受光部ワイド, ドレンパンプ 2台, 鋼製架台(800H), 鋼製屋根, 転倒防止金具						
		集中管理接続部材, 他一式						

※付属品架台、屋根等は溶融亜鉛メッキ仕上とする。

空調機器表

[illegible]

エアコン廻り計装図(参考)

※集中制御配線の線種、接続方法はメーカー規定とする。

記 号	名 称	備 考
CRC	集中管理リモコン	メーカー標準品

動作説明

集中管理リモコン（CRC）により、エアコン（ACP、ACR）の発停及び監視を行なう。

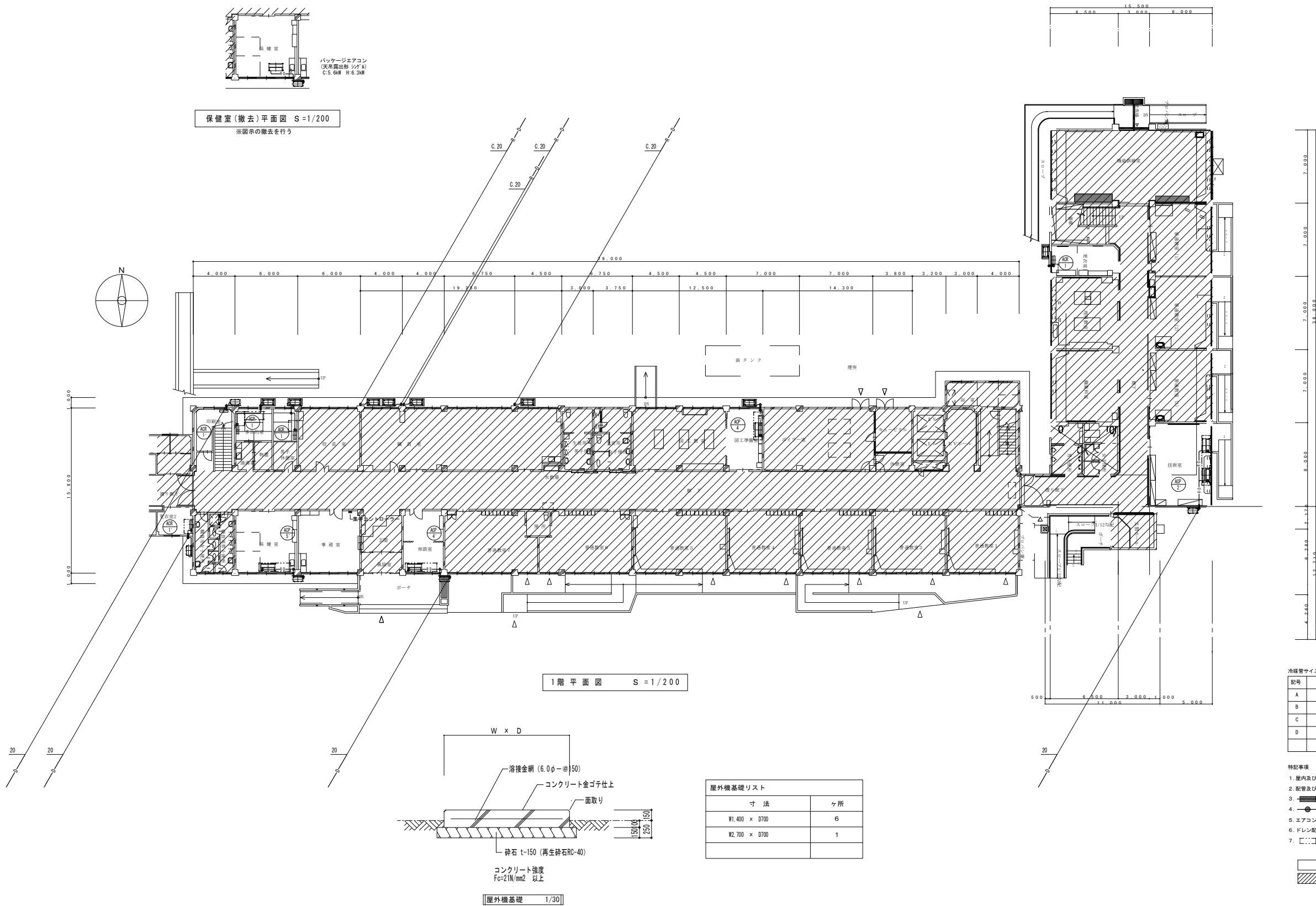
監視項目は下記の通りとする。

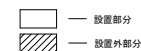
a	EM-C EES 1. 25 □-2 C	
b	EM-C EEF 1. 25 □-2 C	(冷煤管共卷)

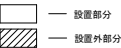
1. 集中配線は全て室外機間の配線とする。
2. 個別リモコンは全てワイヤレスリモコンとする。

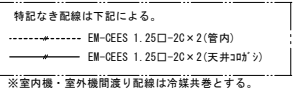
監視（制御）項目一覧表			
		個別リモコン	集中リモコン
制御	発停	○	○
	運転モード切換	○	○
	室温設定	○	○
	室温表示	×	○
監視	手元操作の禁止/許可	×	○
	異常表示	×	○
	機器状態表示	×	○

			株式会社 イープラン 建築設備士 上野浩之 青森市 簡井 丁 目 3 番 2 5 号 TEL 017-764-4108 TEL 017-764-4109		承認 設計 担当	縮 尺 A1:— A3:— 設計年月日 R8.02	浪岡養護学校特別教室外空調和設備設置工事 空調和設備 機器表・計装参考図	No. M - 04
--	--	--	---	--	----------------	---------------------------------------	---	---------------









天井改修一覧表

階	室 名	仕 上	数 量 (㎡)			計
1	技術室	石膏ボード t 9.5目透かし(撤去新設)	4.80	×	0.80	3.84
1	更衣室1	石膏ボード t 9.5目透かし(撤去新設)	0.80	×	0.80	0.64
1	図工準備室	石膏ボード t 9.5目透かし(撤去新設)	2.70	×	0.80	2.16
1	男子休憩室	化粧石膏ボード t 9.5(取外し再取付)	1.00	×	0.80	0.80
1	多目的室	化粧石膏ボード t 9.5(取外し再取付)	3.30	×	0.80	2.64
1	相談室	石膏ボード t 9.5+岩綿吸音板15(撤去新設)	3.10	×	0.80	2.48
1	保健室		3.10	×	0.80	2.48
1	更衣室2	石膏ボード t 9.5目透かし(撤去新設)	1.40	×	0.80	1.12
2	視聴覚・会議室	化粧石膏ボード t 9.5(取外し再取付)	4.20	×	0.80	3.36
		化粧石膏ボード t 9.5(取外し再取付)	6.00	×	0.80	4.80
2	図書室	石膏ボード t 9.5+岩綿吸音板15(撤去新設)	5.30	×	0.80	4.24
2	放送室	石膏ボード t 9.5+岩綿吸音板15(撤去新設)	2.50	×	0.80	2.00
2	準備室	石膏ボード t 9.5目透かし(撤去新設)	2.40	×	0.80	1.92
2	理科教室	化粧石膏ボード t 9.5(取外し再取付)	4.60	×	0.80	3.68
2	児童・生徒会室	石膏ボード t 9.5目透かし(撤去新設)	2.40	×	0.80	1.92
2	音楽準備室	石膏ボード t 9.5+岩綿吸音板15(撤去新設)	2.40	×	0.80	1.92
2	更衣室兼女子休養室	化粧石膏ボード t 9.5(取外し再取付)	2.00	×	0.80	1.60

[illegible]

機 材 名	機 器 種 別		特 定 の 施 設		一 般 の 施 設	
	機 器		重 要 機 器	一 般 機 器	重 要 機 器	一 般 機 器
LED照明器具（一般屋内用に限る。）	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
照明制御装置	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
可変速運転用インバータ装置	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
分電盤	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
制御盤	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
キュービクル式配電盤	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
高圧スイッチギア（CW）	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
高圧スイッチギア（PW）	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
高圧交流遮断器	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
高圧変圧器（特定機器）	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
高圧進相コンデンサ	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
高圧限流ヒューズ	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
高圧負荷開閉器	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
交流無停電電源装置（常時インバータ給電方式（簡易型）を除く。）	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
監視カメラ装置	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0
中央監視制御（監視制御装置）	機 器		2.0	1.5	1.5	1.0

環 境 へ の 配 慮	注）JIS C 62271-200による高圧スイッチギア（図～）を含む。 JIS C 62271-200による高圧スイッチギアの製造業者等は、 上記（2）～すべての事項を満たす証明となる資料を提出して 監督職員の承諾を受ける。 ただし、JEM1425による高圧スイッチギア（CW）（PW）【※を付した 機材名を記載）について上記（2）～すべての事項を評価された ことを示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受け た場合は、「品質及び性能に関する試験データを整備していること 」を除き、証明となる資料等の提出を省略することができる。	
	（1）本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 （平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に 関する基本方針（令和8年2月閣議決定）」に定める特定調達品目 「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。	
一 般 共 通	（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び 性能を有すると共に、次のからを満たすものとする。 木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、 MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、 壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、ア セトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない 材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の 区分に応じた材料を使用する。 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含 有量が少ない材料を使用する。 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2- エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添 加されていない材料を使用する。 の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器 類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発 散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。	
	5. 他工事との取合い 6. 耐震施工	

事 項	施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。	
	（1）設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」 （独立行政法人建築研究所監修）により、次に示す設計用地震力に耐える 方法とする。 ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法 を採用する場合はこの限りではない。 設計用水平地震力 機器の重量[kN]に、地域係数(1.0)及び設計用標準水平震度を乗じ たものとする。なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。 設計用標準水平震度	

機 器 種 別	特 定 の 施 設		一 般 の 施 設	
	重 要 機 器	一 般 機 器	重 要 機 器	一 般 機 器
上層階 屋上 及び塔屋	機器 2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器 2.0	1.5	1.5	1.0
	水槽類 2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器 1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器 1.5	1.0	1.0	0.6
	水槽類 1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器 1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器 1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類 1.5	1.0	1.0	0.6



- ・上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
- ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。
- ・水槽類には燃料小出タンクを含む。
- ・重要機器は次のものを示す。

配電盤	発電装置（防災用）	直流電源装置
交流無停電電源装置	交換装置	自動火災報知受信機
中央監視制御装置		

設計用鉛直地震力	設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
（2）横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。	
（3）1kNを超える機器のアンカー類については耐震支持に対する計画書を提出する。	

一般	7. 石綿含有製品調査	イ) 撤去機器、器具等について石綿含有製品調査を行い、監督職員に報告する。 調査範囲() 調査方法() ロ) 下記の石綿含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。 なお、調査にかかる費用は、本工事 別途 とする。
共通事項	8. 足場その他	別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 本工事で設置する。(図面参照) 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行材料、撤去材等の運搬方法(建築工事編2.2.1 表2.2.1による。) 種別 A種 B種 C種 D種 E種 仮設間仕切り 種別 A種 B種 C種 仮設部分の養生 行う (ビニルシート等) 行わない
	9. 電源周波数	50Hz
	10. はつり	はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。 また、金属探知により電源供給の停止ができる附属装置を使用する。
	11. 非破壊検査	イ) 放射線透過検査等による埋設物の調査 ロ) 範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。
	12. あと施工アンカー	イ) あと施工アンカー 接着系アンカー (接着剤(有機系)) 金属塩系アンカー (本体打込み式) ロ) 試験 性能確認試験 行う 行わない 施工後確認試験 行う 行わない
	13. 撤去跡の修繕	機器撤去後の天井、壁及び床等の修繕は既存仕上げと同等の修繕とする。
	14. 既存施設等の復旧	施工に際し既存設備、施設等に損傷を及ぼした場合は、原状に復旧する。
	15. 支持金物・固定金具	イ) 屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物(ボルト類)はステンレス製(SUS304)とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。 ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
	16. 既存盤の改造	下記盤類の改造等は、製造者等による作業とする。 分電盤 制御盤 受変電設備 盤類の改造前と改造後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。 盤類の工事完了後に、単線結線図の更新を行う。
	17. 総合動作試験	各機器の個別運転後下記の記事について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。 照明制御装置 受変電設備 電力貯蔵設備 発電設備 駐車場管理設備 防犯・入退室管理設備 中央監視制御設備
	18. 電線・ケーブルの種類	新設する電線等は、図面に「EM-」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。
	19. ケーブルの接続	EM・高圧架構ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架構ポリエチレンケーブル(3層押出型)」によるものとする。
	20. ケーブルの接続	屋外でEM・高圧架構ポリエチレンケーブル相互の接続又は端末処理を行う場合は、端部にシュリンクバック対策を施す。
	21. 厚銅電線管	屋外、及び地下ビッドで使用する厚銅電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき(めっき付着量300g/m ² 以上)」仕上げとする。
	22. 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管はP管(一重管)とし、温度による分類はタイプ-2とする。
	23. 電線本数、管径など	分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
	24. インサート	床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。
	25. フラッシュプレート	金属製(ステンレス、新金属も含む) 樹脂製
	26. フロアプレート	アルミ製 銅合金製 水平調整付プレート(空腔付シグ付)とする。
	27. 監視制御システムの名称	外部ネットワークと接続する制御システム あり(対象設備 受変電設備 構内情報通信網設備 中央監視制御設備) なし 外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策 ファイアウォール 統合脅威管理(UTM) 盤・キャビネットの錠の鍵 製造者の標準鍵 錠の指定あり 対策機器(分電盤 制御盤 キュービクル 端子盤 通信キャビネット)
	28. 接地極の種別及び位置表示	図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。
	29. 塗装	キュービクル、分電盤、制御盤等のキャビネットの仕上げ 製造者の標準色仕上げとする。 下記部位に取付けるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準色仕上げとする。 屋外 屋内() 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。(居室)
	30. 機器取付高さ	図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。
	31. 保温、結露防止	図面に面する壁、天井で建築工事でFP版(スタイロフォーム等)打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。

[illegible]

				株式会社 イープラン 建築設備士 上野浩之 青森市簡井丁目3番25号 TEL 017-764-4108 TEL 017-764-4109		承認	設計	担当		縮 尺 A1:- A3:-		浪岡養護学校特別教室外空気調和設備設置工事		No.	
										設計年月日 R8.2		電気設備工事 特記仕様書 1		E . 01	

工事区分表（他工事との取合い等）																							
項 目		A	E	M	EV		備 考		項 目		A	E	M	EV		備 考							
躯体関係								仕上り関係															
1. RC造 （梁・壁・床）の貫通孔開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け						1. 軽量鉄骨天井下地・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強							11. その他（続き）	排煙口等の天井仕上材の取付け					排煙口はM		
	補強を要する型枠材及び取付け							補強を要しないボードの切り込み								消火器ボックス設置工事							
	補強を要しない型枠材及び取付け							開口部の墨出し								誘導標識（誘導灯を除く）							
	貫通孔・開口部の墨出し															煙突底部排水目皿・排水管							
	貫通孔・開口部の補強													くつつきマット・玄関マット・自動扉マット部 床排水金物（目皿共）・排水管									
	スリーブ・型枠の穴埋め						防火区画、防煙区画							くつつきマット・玄関マット・自動扉マット部 床排水金物・排水管									
2. S・SRC造の梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強						3. つりボルト及びインサート	切込み及び補強								11. その他（続き）	ルーフドレン						
	使用されたスリーブの穴埋め							位置ボックス									雨水流入配管						
	予備スリーブの穴埋め							防火区画、防煙区画									雨水利用設備集水管					電動遮断弁以降はM	
3. 設備機器の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入のあるもの）						4. 外壁まわり	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用									11. その他（続き）	屋上緑化					屋上緑化用灌水装置までの配管はM
	屋内の基礎（設備設計図に記入のあるもの）							換気扇（取付枠共）										ポンプ及びポンプアップ配管					
	屋外・屋上の基礎							サッシパネル開口															
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの																						
	機器取付け用アンカー・架台																						
	屋内受水タンク用の基礎						5. 湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台						その他はM	1. 雨水			屋外雨水排水設備					
太陽電池アレイ用架台（支持金物）						AとEの区分は図示		フード（標準詳細図のもの、シール共）										マンホールの化粧上ふたの表面仕上げ					
4. 昇降機関連	機械室・昇降路の躯体						6. 浴室まわり	ミニキッチン（照明、水栓含む）										1. 雨水	雨水公設桟				
	機械室の床開口																						
	機械室の床配管ビット・ふた							浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット															
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上							既製浴槽（ふたを含む）															
	機械室・昇降路内換気設備						浴室及び便所の床排水金物																
	巻上機周囲のチェッカープレート敷																						
	昇降路内ビット防水・集水桟						7. 便所まわり	洗面カウンター						洗面器はM		2. 雑排水・汚水電力・通信	排水公設桟						公共下水道が合流式の場合
	点検用タラップ							鏡（規格寸法のみ）									規格外はA						
	各階出入口穴あけ・同補強							衛生器具ユニット															
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修							手すり、背もたれ							衛生器具ユニットの場合はM								
	昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材						8. 事務室まわり								4. ユニット形浄化槽		タンク室の躯体						
	出入口扉・三方枠及び幕板							ファンコイルカバー										タンク室の砂充てん					
	出入口扉・三方枠及び幕板の各補強鉄骨							家具組み込みの洗面器									切り込みはA						
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式																						
昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けピース						9. プリアパネ	コンセント							5. 屋外オイルタンク	上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等								
機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）							床パネルの切り込み加工																
ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口																							
点検用コンセント・煙感知器																							
5. その他	EV制御盤までの動力・照明用電源、アース、火災時管制運転用信号、非常用発電時管制運転信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事						10. 自動扉電動シャッターまわり	排煙窓本体・自動開閉装置							6. その他	タンク室の躯体							
	EV制御盤からエレベーター内監視カメラ及びインターホンまでの配管・配線工事							上部電動シャッター本体・制御盤・手動開閉装置・ヒューズ装置								タンク室の砂充てん							
	監視カメラ用の監視装置からEV警報盤又はEV監視装置までの配管・配線工事							排煙たれ壁本体・駆動装置								上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等							
	EV警報盤又はEV監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の配管工事							上部電動シャッター、排煙窓及び防煙たれ壁連動制御装置の感知器								配管トレンチ及び蓋							
	EV警報盤又はEV監視盤までの緊急地震速報受信用の配管・配線工事							自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）															
	EV制御盤からEV監視盤又は警報盤までの制御、監視カメラ及びインターホンの配管・配線工事							自動扉の手元電源スイッチ															
	動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事							電気錠の本体、扉内配線															
	トラフ・ビット類（湧水・汚水）・RC造各種水槽							電気錠の扉までの配管及び配線															
	同上用防水・ふた・マンホール・タラップ等								自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアクローザー、フロアヒンジ														
	雷保護設備・同接地工事								自動扉・電動シャッターからセンサー（附属スイッチ）への配管・配線工事														
5. その他	ALC板の壁開口・補強						11. その他	自動扉・電動シャッター本体までの配管・配線							電気配線配管	駐車場ガソリントラップ（RC造）							
	厨房排水溝							2重ビット及びトレンチのマンホールふた									屋外キュービクルフェンス（庫・錠共）						
	厨房グリース阻集器							機器搬入用フック、ビーム															
	オイルサービスタンクの防油堤							チェーンブロック															
	フリーアクセスフロア内の防水堤							化粧マンホール上ふたの表面仕上げ															
	既設埋設配管配線調査（×線探查含む）							点検口（天井・床下）															
凡例	A：建築工事 E：電気設備工事 M：機械設備工事 EV：エレベーター設備工事 区分は複数は印のついたものを適用する。 印がある場合は、それぞれ必要とする工事で実施するものとする。					この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター設備工事（EV）といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体的な工事内容を示すものではないことに留意すること。					（設計者等表示欄） 設計者等表示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示行為を行う場合等に作成する												

			株 式 会 社 イ ー プ ラ ン 建築設備士 上野浩之 青 森 市 筒 井 丁 目 3 番 2 5 号 TEL 017-764-4108 TEL 017-764-4109		承認	設計	担 当	縮 尺 A1:- A3:-	青森第二養護学校特別教室外空気調和設備設置工事	No.
					上野	上野		設計年月日 R8.2	電気設備工事 特記仕様書 2	E . 02

図記号	名 称	定 格	備 考
Ⓢ ²	壁付コンセント	2P15A×2	
Ⓢ ^A	壁付コンセント 及び接地端子	2P15A×1 ET×1(125V)	
☒ _A	防火区画貫通補修	100(壁・床共用)	防火処理を施すこと
☒ _B	外壁貫通補修	100(壁・床共用)	
☐	開閉器箱	MCCB30AF×1	
☒	天井点検口新設	450×450 アルミ製・開口部補強共	

注 記
1. 特記無き配線配管は、下記による。
防火上主要な電仕切り・小屋裏隠蔽の貫通箇所は防火処理を施すこと。
2. ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。
——— EM・EEF 2.0-3C
----- EM・EEF 2.0-3C(E25)

ブルボックス寸法は下記による。
☒ minn : (m×100)W×(m×100)W×(n×100)H
特記無き限り露出型ねじ止め式とする。
記号の末尾にCの記号を付記したものは隠ぺい型に取り付け。
記号の末尾にWPの記号を付記したものは屋外形とする。
記号の末尾にSUSの記号を付記したものはステンレス製とする。
記号の末尾にVの記号を付記したものは合成樹脂製とする。

1階電灯設備図 S=1/200

株式会社 **イーブラン** 建築設備士 上野浩之
〒森市岡井丁目3番25号 TEL 017-764-4108
TEL 017-764-4109

承認	設計	担当
上野	上野	

縮 尺
A1:1/200 A3:1/400
設計年月日 R8.2

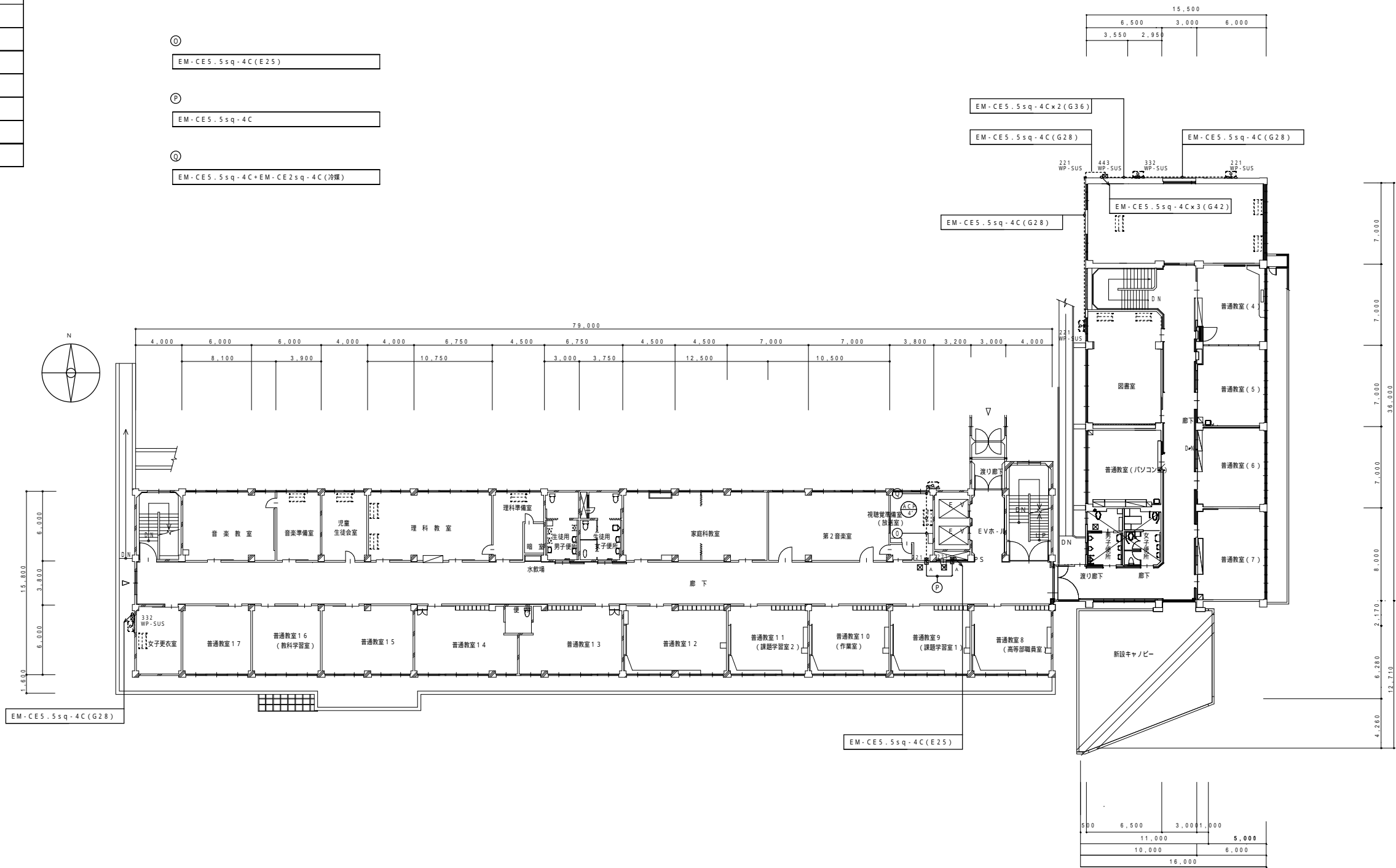
浪岡養護学校特別教室外空調設備設置工事

1階電灯設備図

No.

E - 03

動力負荷機器表		
パッケージエアコン ACP-1	3	200V4.22kW
パッケージエアコン ACP-1'	3	200V4.22kW
パッケージエアコン ACP-2	3	200V2.80kW
パッケージエアコン ACP-2'	3	200V2.80kW
パッケージエアコン ACP-3	3	200V2.04kW
パッケージエアコン ACP-4	3	200V0.99kW
パッケージエアコン ACP-4'	3	200V0.89kW
パッケージエアコン ACP-5	3	200V1.22kW

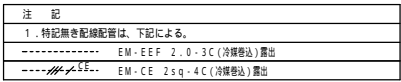


図記号	名 称	定 格	備 考
<input checked="" type="checkbox"/> A	防火区画貫通補修	100 (壁・床共用)	
<input checked="" type="checkbox"/> B	外壁貫通補修	100 (壁・床共用)	
<input checked="" type="checkbox"/> F2	金属製可とう電線管 コンビネーションカップリング	厚鋼電線管 450×450 アルミ製・開口部補強共	配管サイズは図示
<input checked="" type="checkbox"/>	天井点検口新設		

ブルボックス寸法は下記による。
<input checked="" type="checkbox"/> mmn : (m×100)W×(m×100)W×(n×100)H
特記無き限り露出型ねじ止め式とする。
記号の末尾にCの記号を付記したものは隠ぺい部に取り付ける。
記号の末尾にWPの記号を付記したものは屋外形とする。
記号の末尾にSUの記号を付記したものはステンレス製とする。
記号の末尾にVの記号を付記したものは合成樹脂製とする。

屋外機接続部分は金属製可とう電線管（ビニル被覆あり・防水）に接続替入すること。

2階 動力設備図 S=1/200



承認	設計	担当	
上野	上野		

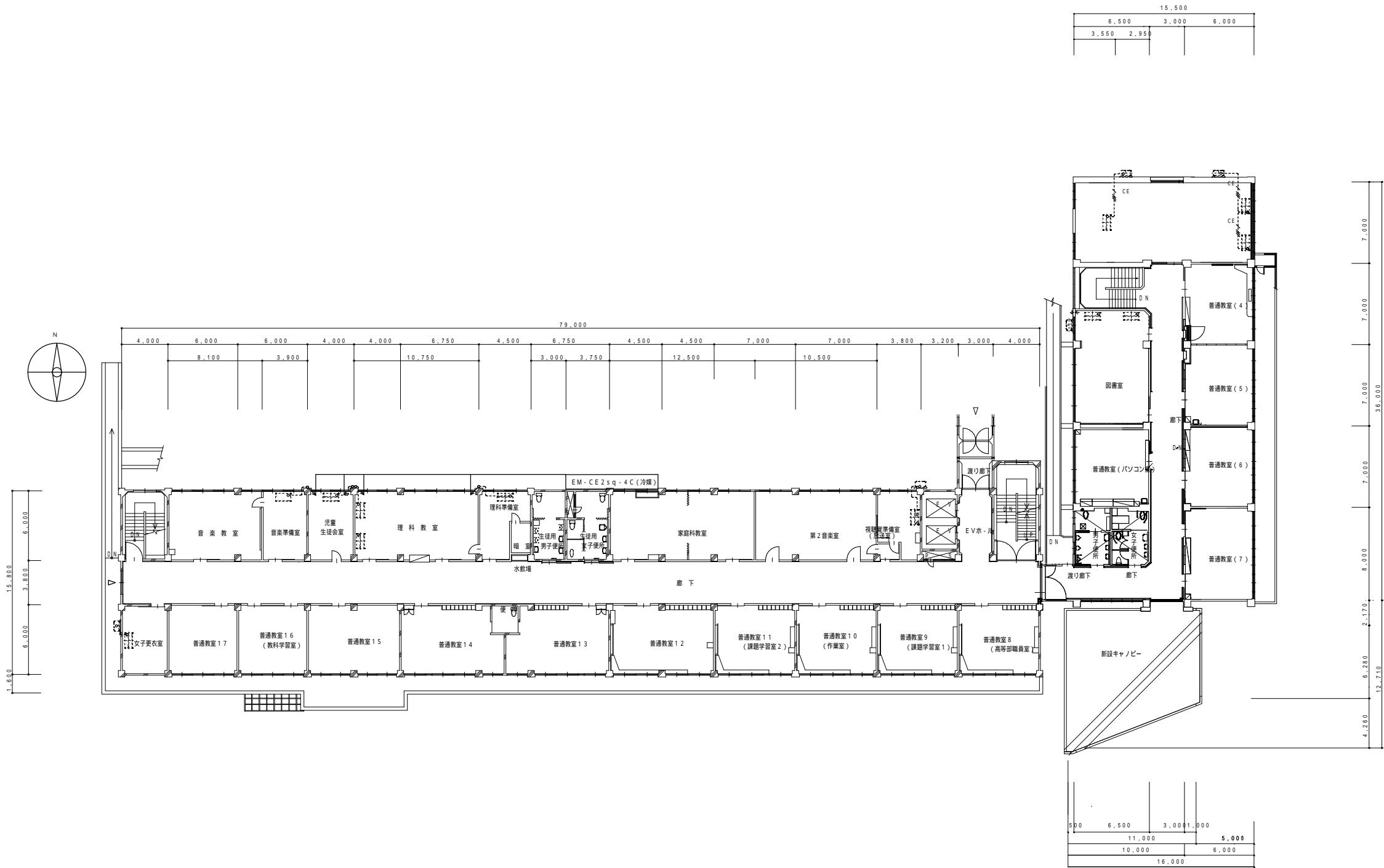
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
設計年月日	R8.2

浪岡養護学校特別教室外空気調和設備設置工事

1 階設備機器用配線設備図

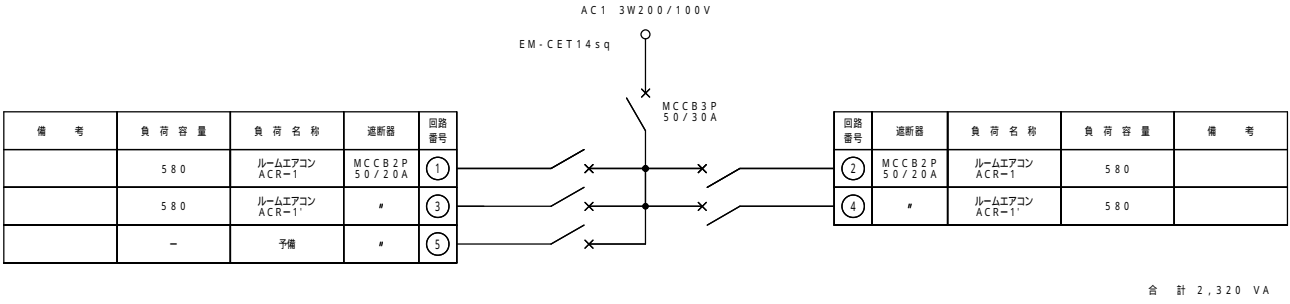
No.

E - 06



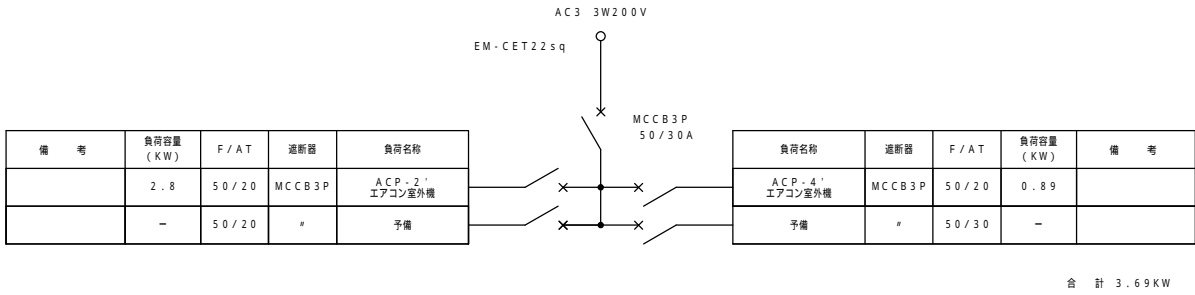
注 記
1. 特記無き配線配置は、下記による。
----- EM-CE 2sq-3C (冷媒配)

2階 設備機器用配線設備図 S=1/200



電灯分電盤 B-K 単線結線図

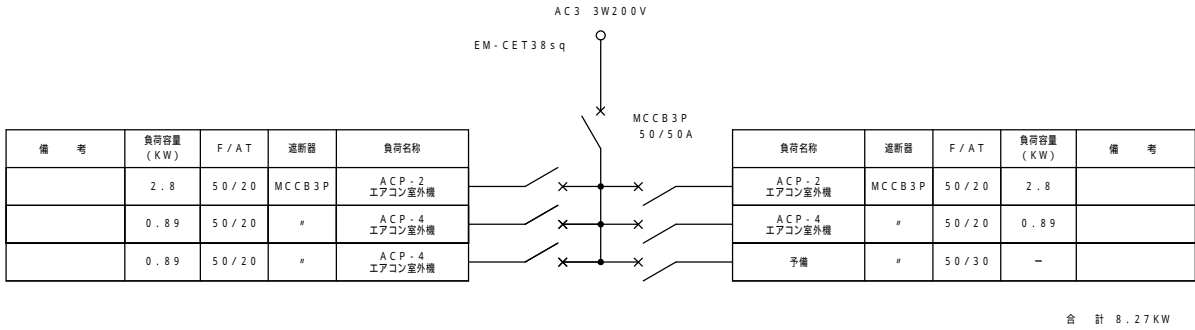
露出型
銅板製



注記
結線図中の冷房負荷容量は夏季稼働時の定格容量を記載したものである。

動力盤 1P-3A 単線結線図

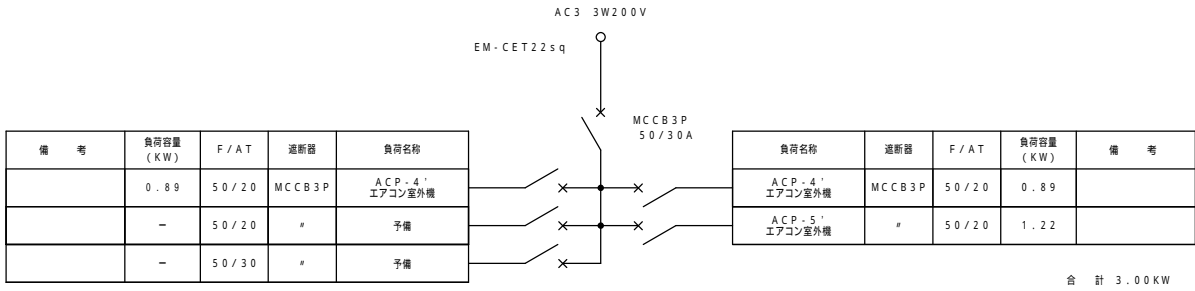
露出型
銅板製



注記
結線図中の冷房負荷容量は夏季稼働時の定格容量を記載したものである。

動力盤 1P-1A 単線結線図

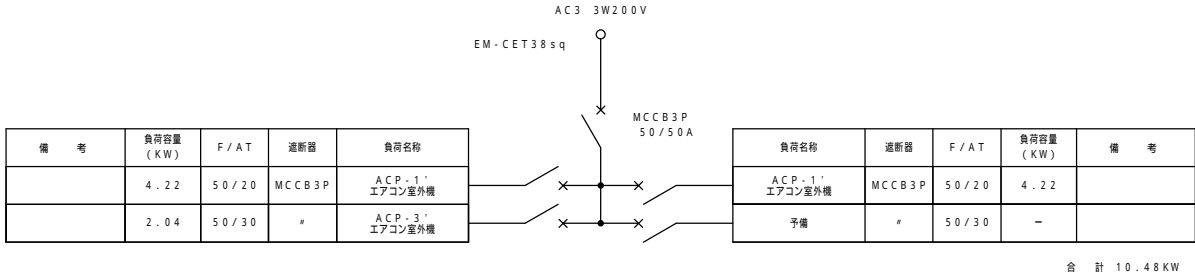
露出型
ステンレス製



注記
結線図中の冷房負荷容量は夏季稼働時の定格容量を記載したものである。

動力盤 1P-2A 単線結線図

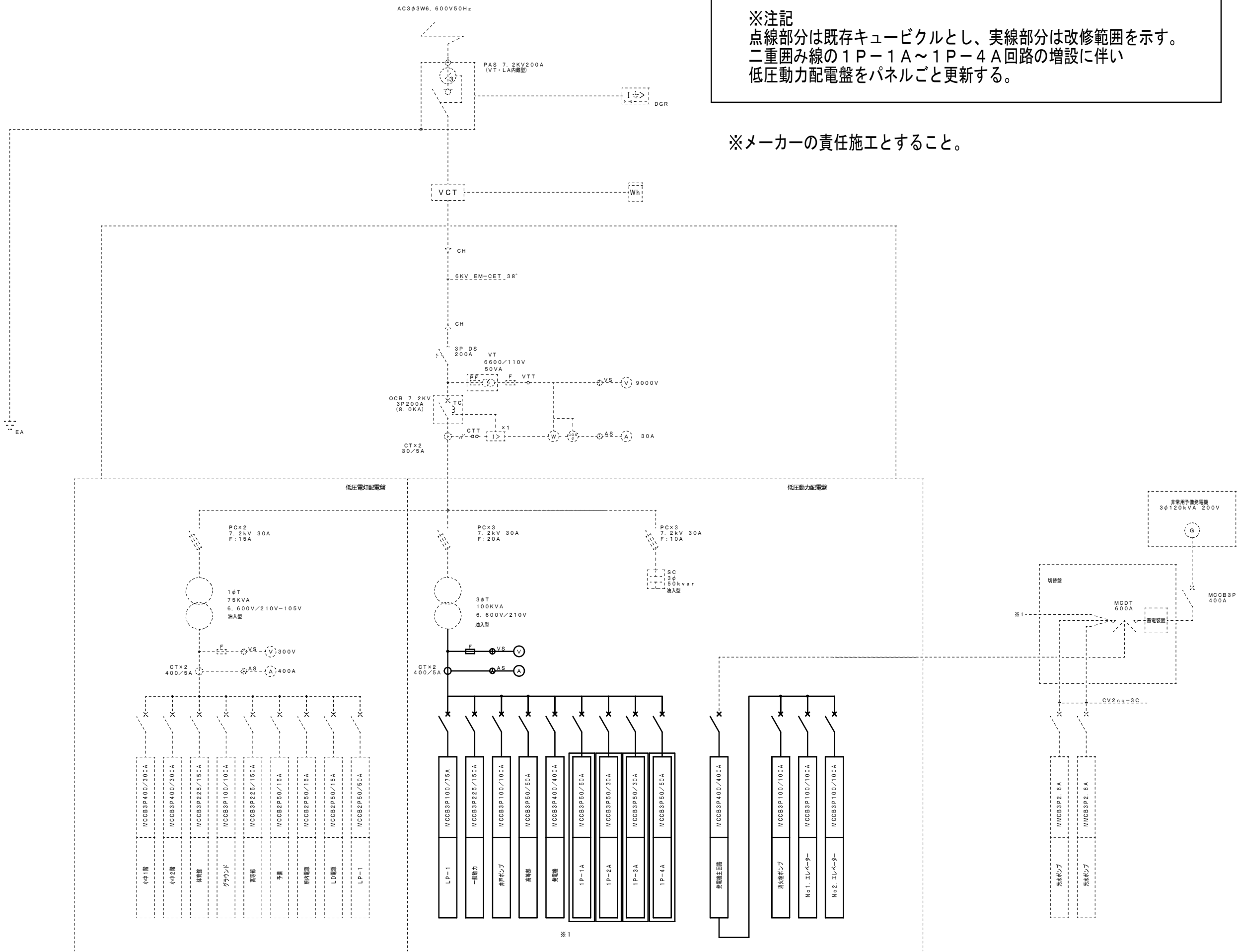
露出型
銅板製



注記
結線図中の冷房負荷容量は夏季稼働時の定格容量を記載したものである。

動力盤 1P-4A 単線結線図

露出型
ステンレス製



※注記
点線部分は既存キュービクルとし、実線部分は改修範囲を示す。
二重囲み線の1P-1A～1P-4A回路の増設に伴い
低圧動力配電盤をパネルごと更新する。

※メーカーの責任施工とすること。